

2021年12月 昭和鮎城会会報 104号

昭和こじょう会便り



第19回趣味の作品展を終えて

会長 小川 賢雄

10月13日(火)～15日(金)まで、名古屋市市政資料館の常設展示場で昭和鮎城会会員の作品展を開催しました。昨年に引き続きコロナ禍での開催と成りましたが、三密対策を実施しての開催で、今年も昭和区役所の事情により会場が変更と成り、多少ご不便をお掛けしましたが、出展数 65 点・延べ来場者数 190 名で、何れも昨年を上回る結果と成り、感謝しております。

趣味の作品展は日常の各種開催行事に参加できない方も参加出来る事で、実質的に昭和鮎城会の最大イベントではないかと思います。作品展を通じて常日頃接触の無い会員の、隠れた趣味とその技量等が新たな発見に至る場でも有ります。

今年は28期生女子10名の発案で「可愛い帽子のブローチ」を展示と共に100名限定で差し上げたところ、好評で14日の昼には無くなりました。

期間中の展示・撤収作業に関わった方、また昭和鮎城会会員始め他鮎城会会員の皆様方に多数ご来場頂き、有り難う御座いました。

第 19 回 趣味の作品展

開催期間 令和3年10月13日（水）～15日（金）

開催場所 名古屋市市政資料館 3階第2～第4一般展示室

出展者数 30名、作品数 65点、来場者数 190人

写 真



(上) 帆船(鳥か?、人か?)

(右) 大銀杏

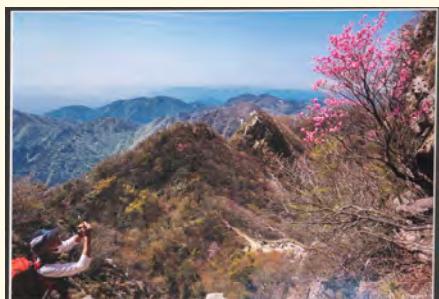
26期 藤田 保志



氷河の谷(フランス、シャモニー)



ケンチアナ、ペルナ(ヨーロッパのリンドウ)



(上) 登れば花のお出迎え

(右) 楽して登るか汗して登るか

32期 伏屋 満



オードリのシムチア

32期 後藤 恵津代 (上3枚)



(上) 群青その1

(右) 群青その2

31期 小川 賢雄



興正寺の春

28期 黒尾 純一



不気味



来るナ！！

29期 阪本 勝



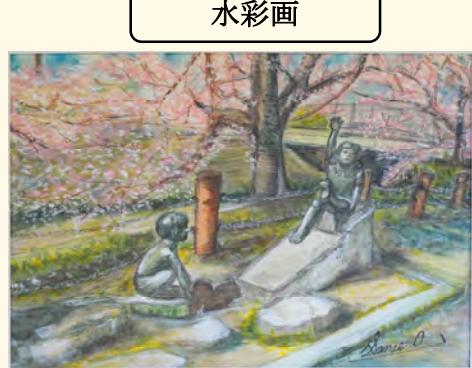
初冬



アイガーノ壁



マッターホルン



山崎川

28期 大河内 早苗



梅花藻の咲く頃

28期 高橋 正子



鳥からの啓示

25期 上澤 かよ子



街角

28期 榊原 寿々子



一休み



調和、(右) 千キロの旅

33期 早瀬 芳二





(上) シャバーニ

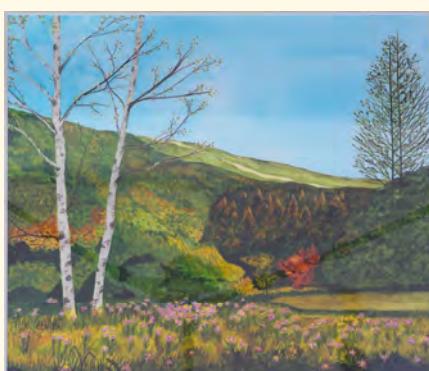


(右) 静寂



水辺の桜

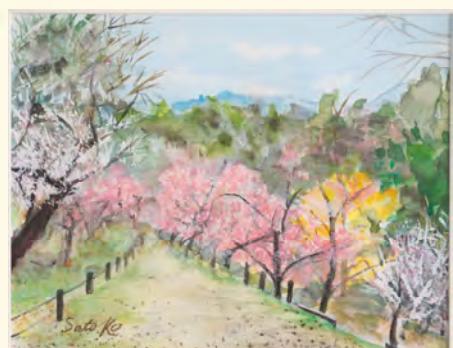
29期 平石 茂



(上) 御岳高原の秋



(右) そら



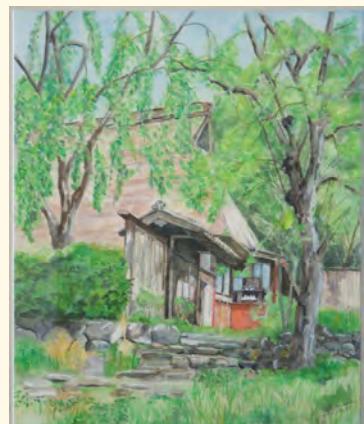
桜咲く道

20期 奥中 さと子 (上2枚)

31期 杉江 恵理子

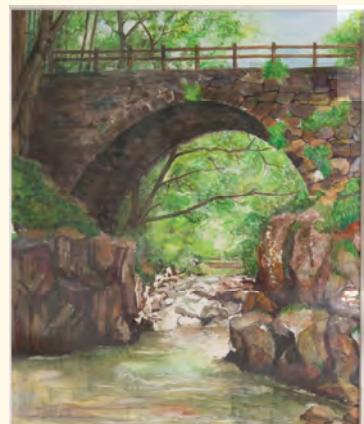


(上) 湖北の夕景、中 美山の里



(右) 鶴の平橋

33期 中村 誠司



静物

26期

稻垣 幸男

パ
ス
テ
ル
画



野菜

30期 小中 芳子

油 絵



花(シクラメン)

30期 小中 芳子

日 本 画



モミジアオイ

25期 天野 美保子

水 墨 画



(左) 酔虎、(中) 蟹、(右) 椿

30期 山口 勝弘

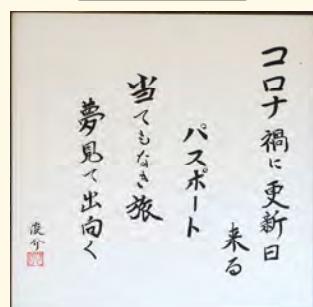
書



雨過天晴

26期 稲垣 幸男

短 歌



コロナいろいろ その1 コロナいろいろ その2

26期 大野 俊介

竹 工芸



(左) 耳付掛け花籠、(右) 六ツ目掛け花籠

28期 高橋 正子

(右) ステンドグラス 四季の風景

(下) グラスリッシュン 山ぶどう

28期 佐藤 富士子



ガ ラ ス 工 芸



手 工 芸



可愛い帽子のブローチ
28期 石黒良江、伊東和世、大河内早苗、
加藤春子、近藤テル子、榎原寿々子、
佐藤富士子、高橋正子、
長谷川みや子、原田千里 女性10名



招き人形(2体)、クッション(2コ)
28期 石黒 良江



かぎ針編 ベスト2枚
32期 服部 三津江



タペストリー「舞扇」
32期 小川由美子

折 り 紙



(上) 12ヶ月花カード
(右) イベント花カード
27期 横田 寿子



小 物
30期 小中 芳子



花 入



大 皿
30期 山口 勝弘



花 器

陶 芸

陶芸



花瓶 角皿セット(大×1)(小×2)
33期 早瀬 芳二



花器
5期 廣江 昭二



オブジェ
25期 天野 美保子



透かし彫り壺
24期 亀井 栄子



蚊遣り
31期 小川 賢雄

自由作品



国宝一出土品のあるミュージアム

31期 細野 博行



行事レポート

名古屋市港防災センターを見学して

33期（生活A）川原 山田 浩

コロナ禍もしかり。人生に一度は大災害に遭うといわれる。

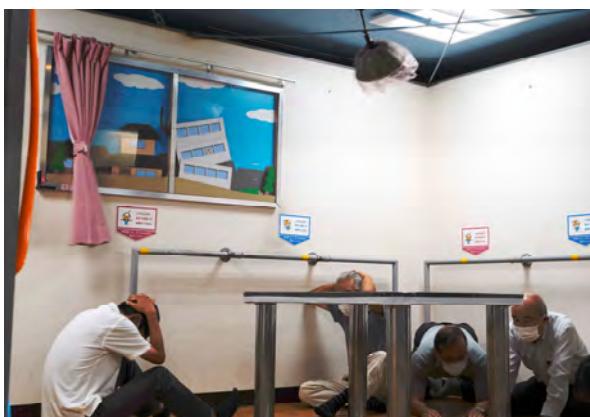
今から62年前の1959年（昭和34年）9月26日夕刻、無残にも数千人の命を奪い、未曾有の大災害をもたらした伊勢湾台風。当時、春日井の我が家は土台がいざり、突風で多くの屋根瓦が飛び、天井と側壁は抜け、2週間以上も停電が続いたのを今でもよく覚えている。

5月以降中止の続いた行事イベントだが、9月8日（水）久々に開催され、会員9名で名古屋市港防災センターを見学した。

防災センターには、風化させないためにも、伊勢湾台風の記録が多数生々しく残されていたが、台風対策のほか、強烈な揺れが1分近くも続いた関東大震災と同じ震度7の揺れを、参加された皆さんと一緒に体験した。



名古屋市港防災センター



震度7起震装置を体験



3Dシアターの伊勢湾台風記録映像



台風は上陸までに多少時間があり、台風情報を聞きながら備えることもできるのが、地震は突然やってくるので、平素から、最低限の備えだけはと再認識した。

行事レポート

桑山美術館と昭和美術館の見学

33期（美術）松栄 中村 誠司

10月20日(水)午前9時30分、地下鉄川名駅に集合、ドタキャンもありましたが16名参加。(最近になく大勢の参加とか….) 徒歩でまず桑山美術館へ、10分ほどで開館時刻前に到着。時間前でしたが係員の方に入館OKをいただき、まず記念写真を撮り入館。今回は「所蔵茶道具展茶事へのいざない」ということで、茶道具の展示がメインでした。

入館者が我々のグループのみだったのを学芸員の方から「茶事」について説明をしていただきました。「茶事」とは、茶会を主催する亭主が多くの客を招く大寄茶会とは異なり、中心となる客を定め、数名の相客を考え案内を出す茶会が「茶事」ということでした。茶事の流れと使われる茶道具などの説明をうけた後、回遊式の庭園に配置された十数種類の燈籠を眺めながら散策などして次の昭和美術館へと向かいました。3名の方はここで解散。



桑山美術館にて



桑山美術館庭園



昭和美術館への散歩

紅葉には早すぎましたが、広い庭園があり、庭園には県指定文化財の茶室南山寿荘があります。天保3年に建てられた一部が、昭和10年に移築された歴史のある建築物だそうです。南山寿荘の特別公開(今年は11月3日)がありますが、興味のある方は次回お出かけください。

見学の後、記念写真を撮ってもらい、ちょうど南山高校のお昼のチャイムを聞きながら現地解散しました。

プラプラと20分ほど歩いて昭和美術館に到着、ここも今回は伝世の茶道具の展示を中心でした。和歌懐紙や書写本の展示もありましたが、私にはチンパンカンパンでした。



昭和美術館にて

ボランティア報告

主要道路清掃

31期（文化A）川原 下和田 学

昭和鯱城会のボランティア活動として、毎月1回クリーンパートナーとして歩道のゴミ拾いを行っていますが、5月、11月、2月には規模を拡大して「主要道路清掃」を実施しています。

荒畠～御器所、御器所～川名、川名～杣中、杣中～八事の4拠点に分け、それぞれの学区で分担して清掃を行います。

5月28日は全体で22名が参加しました。第3拠点では私が所属する川原学区と広路学区、伊勝学区の9名が川名公園に集合し、「山王通」の右と左の歩道に分かれて杣中の交差点まで清掃しました。



集積風景



清掃状況

杣中交差点で八事～杣中を担当する八事学区、滝川学区の人と合流し、ゴミをまとめて集積場所に置き、環境事業所に収集依頼して完了しました。解散後はそれぞれでコーヒーブレイク等をしました。
11月、2月も皆さまの実施ご協力をお願いします



ボランティア報告

土鈴作り

31期（文化 A）川原 下和田 学

毎年区役所講堂で行われている「遊びの広場」と、鶴舞公園での「区民祭り」で、昭和鯉城会は「土鈴の絵付け」を出店していますが、子供達には好評で、不格好な土鈴に思い思いに絵の具を塗ってなかなかの芸術作品？が出来る楽しい催しです。



コロナ感染対策を講じて



出来栄えは？

しかしここ2年はコロナ禍で「遊びの広場」も「区民祭り」も中止になってしまい、土鈴作りも力が入らなかつたですが、在庫も無くなってきたので、来年開催できることを願いながら在庫を増やそうと、6月24日と7月29日の2回実施しました。

社会福祉法人名古屋ライトハウス3階で近藤正臣さん、小川会長、山口勝弘さん、早瀬芳二さん達陶芸家(?)の指導により、2回で80個余りが出来ましたので、来年こそはコロナが終息して、子供たちが楽しめると良いなと思っています。



慎重に



全集中



6月の参加者

ボランティア報告

「ゆめ緑道ごきそ」荒畠花壇の植え替え

31期（文化A）川原 下和田 学

昨年は下水道工事のため花壇が一時取り壊されて、冬の「パンジー」は希望者の家で咲いていましたが、今年は工事も終わり、花壇も復旧したので、6月18日、一年ぶりの植え替えになりました。

花壇は、地下鉄荒畠駅から山王通を西に200m行った南側歩道に設けられており、当日「ゆめ緑道ごきそ」事務局の岩田さんが届けてくださった「ジニア(百日草)」の苗を、小川会長以下9人で移植。その後も、会員で水やり当番を分担し、育成に頑張りました。

その甲斐あって、夏～秋も荒畠の歩道を歩く人の目を楽しませることができました。



花壇の場所



3列に植栽



花壇光景

訃報

1. 安藤 守 様 (32期 陶芸 広路学区 写真クラブ)
広報委員でもありました安藤様、令和3年5月8日ご逝去されました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

当初9月に発刊する予定でしたが、コロナ禍が継続する中、行事やボランティア活動が制約されたため、12月に延期となり申し訳ありませんでした。今後も、会員皆様の安全安心で充実した活動の報告等により定期的に会報の発行に努めますのでご協力お願いします。

昭和鯉城会 「昭和こじょう会便り」 2021年12月104号

発行責任者 小川 賢雄

広報委員長 伏屋 満、 副委員長 樋口 敏幸

広報委員 杉江 恵理子、細野 博行、中村 誠司、早瀬 芳二

表紙 絵 「趣味の作品展」風景

名古屋市高年大学鯉城学園・昭和鯉城会共同発行